

第6学年 社会科学学習指導案

1 小単元名 「江戸幕府と政治の安定」(7時間)

2 小単元の目標

我が国の歴史上の主な事象について、関ヶ原の戦い、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制に着目して、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を捉え、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、江戸幕府の政策や社会の様子を理解している。 ② 調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。	① 関ヶ原の戦い、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制に着目して、問いを見だし、江戸幕府の政策の意図や社会の様子について考え、表現している。 ② 関ヶ原の戦い、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	① 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 単元について

(1) 学習指導要領上の位置付け

本単元は、学習指導要領に第6学年の内容(2)に基づいて設定する。

<p>(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア(キ) 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解すること。</p> <p>(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。</p> <p>イ(ア) 世の中の様子、人物の動きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。</p> <p>(内容の取扱い) 児童の興味・関心を重視し、取り上げる人物や文化遺産の重点の置き方に工夫を加えるなど、精選して具体的に理解できるようにすること。</p>

(2) 教材について

本小単元は、江戸時代になると武士による政治が安定していったことを理解することが学習のねらいである。参勤交代や鎖国、身分制などの幕府の政策が政治の安定につながっていることを調べる時間を通して捉えていく。

この頃から政治の中心が江戸(現在の東京)に移っていくが、関ヶ原の戦い当時の江戸は多くが沼地であり、多くの人が居住したり、政治の拠点となったりすることには適さない地であった。その後、江戸時代後期には世界を代表する都市へと発展し、現在の東京へとつながっていることを導入で捉えることで、自分たちの住む地域の歴史に目を向けることへのきっかけとしたい。

「しらべる」段階では、江戸の町づくりの様子を教材として取り上げた。沼地だった江戸の土地が、利根川などの治水工事を経て多くの人が住むことができるようになったこと、江戸城を支える石垣作りには日本各地の石材が使われており、多くの人が働いたこと、江戸城のお濠が城や町の防衛と商業の発展との2つの面で江戸幕府を守り、支えていたことなどを調べ、260年以上続く政治の安定の基礎を築いたことを捉えさせる。この頃から自分たちの住む東京が発展していったことを、実際に工事の様子などを調べることを通して実感させたい。また、江戸の整地や工事を天下普請として大名が負担したことを、次時で調べる大名支配の学習と関連付けられるようにしていく。

5 単元構想

【本小単元につながる児童の学習経験】

集めた情報を整理したり、考えたことを交流したりすることを繰り返す中で、社会的事象の意味や役割、背景を考えることの楽しさを味わう児童が増えてきた。集めた情報を整理したり、つないだりする力も徐々に高まり、問いに対する考えを導き出すことはできるようになってきた。

【研究内容1】 主体的に問いを追究する工夫
<p>【問題意識を高める工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸のまちの発展の様子、江戸幕府が長期間政治を行ったこと、江戸時代に争いが少なかったことを取り上げることで、江戸幕府がどのような政治を行ったのか問題意識を高める。 <p>【見通しをもつ工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習問題に対する予想を出し合ったり、年表を活用したりして学習計画をたてられるようにする。学習問題と調べる過程の問いの主語を全て、「江戸幕府は」に揃え、江戸幕府がどのような政治を行ったのか、まちづくり、大名統制、身分制、外交という視点で追究できるようにする。 <p>【内容や方法を選択できる工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べる過程における政策の意図を考えた後、話し合う場面では、直接対話するか、タブレットを活用し考えの交流を行うか、児童が選択できるようにする。 <p>【学びを振り返る工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りでは問いに対する考えや学び方に加え、学習内容と自分たちの生活する現在の東京都との繋がりについて考えたことも記述する。 <p>【協働的に取り組む工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べる過程では、毎時間、江戸幕府の政策の意図を考え、話し合うことで、それぞれの政策が江戸幕府の安定にどのような繋がりがあったのか捉えられるようにする。

子供の主体的な問題解決の側面から		
過程	想定される「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方
つかむ	<学習問題をつかむ問い> 徳川家康は、江戸幕府をどのように開いたのだろう。	← 徳川家康の 願いや働き に着目して → 徳川家康や
	<学習問題をつかむ問い> 江戸幕府はどのくらいの期間、政治を行ったのだろう。	← 徳川家光の 願いや働き に着目して →
学習 問題	江戸幕府は、どのようにして平和で安定した世の中	
しら べる	<しらべる問い> 江戸幕府は、江戸のまちづくりをどのように行ったのだろう。	← 約50年間 の江戸のま ちの変化に 着目して →
	<しらべる問い> 江戸幕府はどのようにして多くの大名を従えていったのだろう。	← 徳川家光の 願いや働き に着目して →
	<しらべる問い> 江戸幕府は人々に対してどのような政策をとったのだろう。	← 人々のくら しの様子に 着目して →
	<しらべる問い> 江戸幕府はどのように外国と関わったのだろう。	← 外国との関 わりに着目 して →
まと める	<特色や意味を考える問い> 江戸幕府の政策は、安定した世の中を築くこととどのようにつながっているのだろう。 今の東京と比べてみるとどのようなことが言えるのだろう。	← 歴史的事象 を関連付け て考えて →

【研究内容3】子供の学びを確実にする評価の工夫	子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価
	単元のつかむ、調べる、まとめる3つの過程で学習を振り返る場を設定する。導入では、前単元までの学習を基に本単元での学び方の目標を設定し、途中で学習調整、まとめの段階で、自己評価を行う。

単元で目指す児童像

徳川家康は織田信長や豊臣秀吉が進めてきた天下統一を成し遂げ、260年以上続く安定した世の中を築くことができた。武家諸法度にある参勤交代などの政策や江戸の町づくりの工夫によって多くの大名を従わせていた。身分に応じた負担や仕事をさせることで武士を中心とした仕組みをつくった。外国に対してはキリスト教の禁止と鎖国を行い、幕府の命令が行き届き、貿易の利益を独占できるようにした。何もなかった東京はこの頃から発展しており、今の私たちのくらしの基になっている。

社会生活の確かな理解の側面から

見方・考え方を働かせる資料	子供が獲得できるようにしたい知識
・ 関ヶ原の戦い	徳川家康は関ヶ原の戦いに勝って全国支配を確かなものにし、征夷大將軍に任じられ、江戸に幕府を開いた。
・ 江戸のまちの変化 ・ 政治の期間 ・ 争いの数	徳川家康は、沼地だった江戸の開拓を進めた。そして江戸幕府は約260年間政治を行い、その期間、戦いが少なく、前の時代よりも平和な世の中だった。

を築くことができたのだろうか。

・ 江戸のまちの変化 ・ 運河 ・ 江戸城石垣	幕府は、大名に石垣作りや川の工事、埋め立てなどを負担させた。これにより、江戸のまちは、たくさんの人が安心して住める、戦や災害に強いまちになった。
・ 武家諸法度 ・ 参勤交代 ・ 大名配置図 ・ 五街道	幕府は、参勤交代の制度を定めて全国の大名を交代で江戸の屋敷に住ませた。逆らいやすく力をもった大名ほど江戸から遠くに配置し、権力の安定を図った。多くの大名行列によって、江戸と地方を結ぶ街道が栄えた。
・ 身分ごとの絵資料 ・ 江戸城下町地図	幕府は、人々を武士や百姓、町人などの身分として位置付け、くらしに見合った負担をさせ、武士を中心とする仕組みを整えた。現在の東京にも、当時の町人地の地名が残っている。
・ 出島絵資料 ・ 絵踏み ・ 島原一揆	幕府は、キリスト教を厳しく取り締まり、貿易船の出入りを制限することによって、貿易の利益を独占し、幕府による支配を強めた。

徳川家康や徳川家光は、たくさんの人が安心して住めるまちをつくり、大名に対しては武家諸法度によって幕府に従わせ、人々には身分に応じた負担や仕事をさせて、外国に対してはキリスト教の禁止と鎖国による貿易の独占などの政策をとり、260年以上続く安定した世の中を築いた。今の東京が沼地から発展していったのはこの頃からだった。

【研究内容2】

社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

【位置や空間的な広がりから見る】

- ・ 江戸のまちの発展に着目するために、開拓前、開拓後、現在の江戸（東京）のまちの広がり（地図）を比較する。
- ・ 参勤交代の様子に着目できるよう、参勤交代の経路やかかった日数が分かる地図を読み取る。
- ・ 江戸幕府と外国との関わりに着目できるよう、江戸幕府が貿易を行った国が分かる地図を読み取る。

【時期や時間の経過から見る】

- ・ 江戸幕府の政治に関心をもつために、豊臣氏と江戸幕府の政治の期間を比較する。
- ・ 江戸幕府が貿易を制限した目的を捉えるために、鎖国までの歩みについて年表や資料を活用して調べる。

【事象や人々の相互関係から見る】

- ・ 江戸幕府と大名の関係に着目するために、参勤交代を行う意図について考え、話し合う。
- ・ 江戸幕府と百姓や商人との関係に着目するために、身分制の意図を考え、話し合う。

【比較・分類・関連・総合して考える】

- ・ 豊臣氏と江戸幕府の政治を行った期間、開拓前と開拓後の江戸、戦国時代と江戸時代中頃までの争いの数をそれぞれ比較する。
- ・ 武士による政治が安定したことを捉えるために、江戸幕府が行った、大名や人々に対する政策や外交政策を関連付けて考え、図にまとめる。

指導と評価の一体化を図る（教師が指導に生かす）評価

授業後、ノートのとまとめや振り返りを基に、児童が目標に到達しているか評価し、個別に支援したり、価値付けたりする。授業中、児童の発言を評価し、考えを広げたり深めたりするために、教師が問い返しを工夫する。

6 小単元の指導計画 (全7時間)

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 【評価】 □教師の手だて
つ か む	関ヶ原の戦いの様子を調べ、徳川家康が勝利を収め、江戸に260年以上続く幕府を開いたことに興味をもち、学習問題を作る。 ①	○関ヶ原の戦いの様子から、徳川家康が織田信長と豊臣秀吉に続き天下統一を果たし、江戸に幕府を開いたことを知る。 ・西軍と東軍に分かれて戦った。 ・東軍の家康は勝利し、今の東京に幕府を開いた。 ◆徳川家康は江戸幕府をどのように開いたのだろうか。 ○徳川家康の生い立ちや、江戸の土地の開拓について調べる。 ・人質で苦勞していた。 ・征夷大將軍に任命されて、江戸に幕府を開いた。 ・江戸って前は沼地だったのか。 ・川の形を変えたり、埋め立てたりした。 ○織田、豊臣、徳川のそれぞれの時代の戦いの数を比較する。 ・家康の時代になると急に戦が減っている。江戸時代はほとんど戦がない。 ○疑問を出し合い、学習問題をつくる。 ・どうして戦のない平和な時代になったのだろうか。 ・江戸時代がこんなに続いたのはどうしてだろうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習問題：江戸幕府は、どのようにして平和で長く続いた世の中を築くことができたのだろうか。 </div>	◎関ヶ原合戦図屏風絵 ◎徳川家康肖像画 ◎天下もちの歌 ◎動画資料 (現在の東京から400年前の江戸へ、1590年家康入府、家康の生い立ち、江戸の開拓と地形の変化) □当時の東京は沼地が多く現在とは違っており、この頃から発展していったことを捉えられるようにする。 ◎戦の数の比較年表 【思判表①】 ノートの記述から「江戸に260年以上続く幕府を開いたことに興味をもち、問いを見いだしているか」を評価する。
	江戸幕府が260年以上続いた理由を予想し、学習計画を立てる。②	◆江戸幕府は、どのようにして平和で長く続いた世の中を築くことができたのだろうか。 ○予想を出し合い、学習計画を立てる。 ・江戸幕府もきまりをつくっていると思う。 ・信長や秀吉のようにお城を作って拠点にしたと思う。 ・外国との関わりも調べる必要がある。 ・年表を見ると、江戸城の石垣が完成しているから、江戸の町を整備したと思う。 ・武家諸法度というきまりを定めている。 ・参勤交代を大名に命じている。 ・身分制によって人々の暮らしへの仕組みを整えている。どのようにしたのだろうか。 ・キリスト教を禁止している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 江戸の町を整備 大名の支配 人々への政策 キリスト教の禁止と外国との関わり </div> ○単元の学習の見通しをもつ。 ・読み取った情報をつなげて考え、家康や家光が果たした役割を考えられるようにしたい。 ・江戸は昔の東京だからどのように発展してきたかをしっかりと調べたい。	◎簡易年表 □既習の視点を基に予想をしてから年表を用いるようにする。 □年表に江戸が整備されたことが読み取れるような情報を載せ、自分たちの暮らす東京のまちの歴史に興味をもたせるようにする。 【思判表①】 ノートの記述から「江戸幕府が260年以上続いた理由を予想し、学習計画を立てているか」を評価する。 【主体的①】 ノートの記述から「予想や学習計画を立てて、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。 □見通しでは、本小単元でどのように学ぶかという視点を与える。

江戸城築城の様子や江戸の整地の様子について調べ、幕府は大名に様々な仕事を負担させ、江戸のまちを整え、発展の基礎を築いたことを理解する。③

◆江戸幕府は江戸のまちづくりをどのように行ったのだろう。

- 江戸城石垣の建築の様子や江戸の整地の様子について調べる。
 - ・江戸城をつくるのに、大名に仕事をさせている。力を示そうとしたのか。
 - ・たくさんの大名が仕事をしている。材料(石)は全国から運ばれている。
 - ・利根川を曲げて江戸を住めるようにしたんだ。
 - ・掘りを大名が工事している。大名は自分たちの領地ではないのに仕事を負担させられている。
- 江戸幕府が町づくりを進めた意図を考える。
 - ・江戸の町を守りやすく住みやすくするため。
 - ・商業を発展させるため。
 - ・幕府の力の強さを示すため。
 - ・もしかすると大名の力を削ぐため。
- 学習のまとめを記述する。
 - ・江戸幕府は、天下普請として大名に石垣作りやお堀の工事などを負担させた。江戸の町を整えたりすることがねらっていた。城や江戸のまちは、このとき全国の大名の力でできたものだと分かった。本物の石垣を見に行ってみたい。
- 振り返りを記述する。

- ◎利根川の東遷
- ◎江戸図屏風
- ◎江戸城築城と天下普請
- ◎江戸の整地と水路
- 江戸城を築いたり、江戸を整地したりするために全国の大名が関わっていることに気付くことができるようにする。

【知技①】ノートの記述から「幕府は大名に様々な仕事を負担させることで大名の力を削り、江戸の町を整え、発展の基礎を築いたことを理解しているか」を評価する。

□本時の学習が学習問題とどうつながっているかを問う。

徳川家光の働きや参勤交代の制度、大名の配置などについて調べ、幕府の大名支配の仕組みについて理解する。④

◆江戸幕府はどのようにして多くの大名を従えていったのだろう。

- 徳川家光の働きや参勤交代の様子、大名配置図などについて調べる。
 - ・徳川家光は幕府と大名との違いを明確にした。
 - ・参勤交代は1年おきに江戸と領地を行き来する制度。費用は大名が負担した。遠くにいる大名ほど負担が大きいし大変だ。
 - ・この頃から江戸と全国をつなぐ道路ができあがっていったんだね。
 - ・関ヶ原以降に従った大名ほど遠くにいる。反乱を防ぐ工夫なのかな。
- 江戸幕府がどのようなねらいで参勤交代などの制度をつくったのか考える。
 - ・大名に費用を負担させることで力を弱めようとした。その結果世の中は安定した。
- 学習のまとめを記述する。
 - ・徳川家光は大名に対して幕府の力を示し、参勤交代の制度によって、大名に多くの負担をさせて反乱を防いだ。全国から東京へ続く道が参勤交代をきっかけにできて江戸が発展していったことがわかった。
- 振り返りを記述する。
 - ・情報をつなげて考えることに挑戦できた。キーワードを見付けることで、今よりもつなげていけるようにしていきたい。

- ◎徳川家光
- ◎武家諸法度
- ◎加賀藩参勤交代
- ◎大名配置図
- ◎五街道
- 複数の資料から読み取った情報をつなげて考えさせ、大名を支配する仕組みの工夫に気付くことができるようにする。
- 参勤交代により、この頃東京(日本橋)へつながる大きな街道ができたことを押さえられるようにする。

【知技①】ノートの記述から「参勤交代の制度や大名の配置による幕府の大名支配の仕組みについて理解しているか」を評価する。

□本時の学習が学習問題とどうつながっているかを問う。

□単元の始めに立てた目標に対して今どうかと問うことで学習調整ができるようにする。

<p>身分制と人々の暮らしについて調べ、武士を中心とした身分制度について理解する。 ⑤</p>	<p>◆江戸幕府は人々に対してどのような政策をとったのだろう。</p> <p>○身分制と、それぞれの人々の暮らしについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武士、町人（商・工）、百姓に分かれていた。 ・身分によって住む場所が決まっていた。 ・江戸の城下町だと、東側に町人の町がある。 ・町人地は職業ごとに住む場所が決まっていた、そのまま地名になっている。今でも残っている。 ・城の周りには大名屋敷が集まっている。親藩ほど近くに集まっている。今は政治の中心地になっている。 ・人工の80%が百姓だ。武士は数%だ。 ・五人組という組織で、年貢を納めていた。 <p>○幕府はどのようなねらいで身分制を取り入れたのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年貢を納める仕組みをつくりたかった。 ・武士に逆らえないようにするため。 <p>○学習のまとめを記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府は人々を武士、町人、百姓などの身分に分け、それぞれのくらしや仕事をさせた。身分制によって、年貢を安定して治めさせようとした。江戸のころの地名が今もそのまま残っていることに驚いた。 <p>○振り返りを記述する。</p>	<p>◎様々な身分のくらし</p> <p>◎江戸城下町地区</p> <p>◎現代の江戸城周辺の様子</p> <p>□江戸にも町人地をもとにした地名が残っていることに気付くことができるようにする。</p> <p>□江戸城周辺は、今では政治の中心地（官公庁舎）となっていることを押さえる。</p> <p>【知技①】 ノートの記述から「武士を中心とした身分制度について理解しているか」を評価する。</p> <p>□本時の学習が学習問題とどうつながっているかを問う。</p>
<p>キリスト教の禁止や鎖国について調べ、それらの政策による社会への影響を理解する。⑥</p>	<p>◆江戸幕府はどのように外国と関わったのだろう。</p> <p>○江戸幕府がキリスト教を禁止し、鎖国を完成させたことを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地に日本人町がつくられるほど最初は貿易を盛んにしようとしていた。 ・キリスト教の信者が幕府の命令に従わなくなるのを恐れ、禁止した。 ・島原・天草一揆が起こった。 ・絵踏みで取り締まった。 ・鎖国をして、オランダと中国に貿易を限定した。 <p>○キリスト教の禁止や鎖国が世の中にどのような影響を与えたかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国から得られる技術や文化を幕府が独占できるから、江戸幕府がより安定した。 ・他の国との交流が少ないので進歩が遅れるのではないか。 <p>○学習のまとめを記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府はキリスト教を禁止し、鎖国をすることで、人々が幕府の命令に従わなくなるのを防ぎ、貿易の利益は幕府が独占した。外国との関わりができるのを幕府だけにしたのは賢いと思った。 <p>○振り返りを記述する。</p>	<p>◎絵踏み</p> <p>◎島原・天草一揆</p> <p>◎出島</p> <p>◎長崎と江戸を結ぶ道</p> <p>□長崎から江戸まで通信使や貿易の品が往復したことに着目させ、外国との交流が長崎で終わらず、江戸で行われていたことを押さえる。</p> <p>【知技①】 ノートの記述から「キリスト教の禁止や鎖国などの政策による社会への影響を理解しているか」を評価する。</p> <p>□学習したことに対して考えたことはと問うことで、学習内容をより身近に感じることができるようにする。</p>

まとめる	<p>徳川家康や家光の業績について調べてきたことを整理し、江戸幕府の政治についてまとめ、表現する。⑦</p>	<p>◆江戸幕府はどのようにして平和で長く続いた世の中を築くことができたのだろう。</p> <p>○徳川家康や家光の業績を図や言葉でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳川家康が開いた江戸幕府は、徳川家光などに受け継がれた。 ・大名に対して、武家諸法度を定め、参勤交代や天下普請の政策を進めたことで、幕府に逆らうことができないようにした。 ・身分ごとに仕事や税の負担をあつきりさせることで、武士が支配する仕組みを整えた。 ・キリスト教を禁止し鎖国をすることで、幕府だけが外国からの利益や情報を独占できるようにした。 <p>○学習問題に対する自分の考えを記述し、キャッチフレーズを考え、意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳川家康や徳川家光は、武家諸法度によって大名を幕府に従わせ、幕府を中心とする仕組みをつくった。また、人々には身分に応じた負担や仕事をさせて武士の暮らしを安定させ、外国に対してはキリスト教の禁止と鎖国による貿易の独占などの政策をとり、260年以上続く安定した世の中を築いた。今の東京が沼地から発展していったのはこの頃からだった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>しくみを整えて、安定した時代へ！めざましい発展江戸の町</p> </div> <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報をつなげることで、江戸幕府が権力を強めるために行ったことの意味がよく分かった。 ・意見を伝え合った方が自分の考えも深まると思った。しかしあまり発言できなかったので、次の学習でも目標にしたい。 	<p>□図解を用いることで、集めた情報を整理して表現できるようにする。</p> <p>【思判表②】ノートの記述から「徳川家康や家光の業績について調べてきたことを整理し、江戸幕府の政治についてまとめ、表現しているか」を評価する。</p> <p>□事前にキャッチフレーズを考えることを伝え、江戸時代の政治を短い言葉で表せるようにする。</p> <p>【知技②】ノートの記述から「調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解しているか」を評価する。</p> <p>□単元の始めに立てた学び方の目標に対する振り返りをする。</p> <p>【主体的①】ノートの記述から「学習を振り返って、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。</p>
------	--	---	--

7 本時の学習

6年3組 世田谷区立烏山小学校 主任教諭 藤井 祐太

(1) 本時のねらい

江戸城築城の様子や江戸の整地の様子について調べ、幕府は大名に様々な仕事を負担させ、江戸のまちを整え発展の基礎を築いたことを理解する。

(2) 本時の展開

つかむ	<p>○主な学習活動 ・児童の予想される反応</p>	<p>◎資料 【評価】 □教師の手立て (番号は研究内容)</p>
	<p>○前時の学習を振り返り、本時の学習への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を立てた。今日は江戸のまちづくりについて学習する。 <p>○1590年当時の想像絵と江戸図屏風を比較し、疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごくにぎやかだ。どうやって町をつくったのかな。 ・立派なお城がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時の問い：江戸幕府は江戸のまちづくりをどのように行ったのだろう。</p> </div> <p>○江戸図屏風や既習事項を基に、問いに対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人に命令して手伝いをさせているのではないか。 ・船が通る道を作った。お城の石を運んできた。 	<p>□簡易年表や学習計画を基に全体で確認する。</p> <p>◎江戸図屏風</p> <p>◎1590年当時の江戸の想像絵</p> <p>□本時の問いへの関心を高めるための資料提示とする。</p> <p>□江戸図屏風を基に予想するだけでなく、鎌倉幕府や信長、秀吉などの政策を基に考えられるようにする。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl;">つづける</p>	<p>○江戸城石垣の建築の様子や江戸の整地の様子などについて調べ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸城の石垣をつくるのに、大名に仕事をさせている。力を示そうとしたのか。 たくさんの大名が仕事をしている。天下普請という。 天下普請の費用は大名が負担した。 石を運ぶのに多くの人が働いている。 利根川を曲げて江戸を住めるようにした。水害にも強いまちになった。 水路ができています。物が運びやすくなった。商売が発展したのだらう。 日本橋がこの時発展した。聞いたことがある場所だ。 当時の江戸は世界で最も大きなまちだった。 <p>○江戸幕府がまちづくりを進めた意図を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸のまちを守りやすく住みやすくするため。 交通を便利にして、商売を発展させようとした。 幕府の力の強さを示すため。 ひょっとすると大名の力を削ろうとしたのか。 	<p>◎利根川の東遷</p> <p>◎江戸城築城と天下普請</p> <p>◎江戸の整地と水路</p> <p><input type="checkbox"/>江戸城の石垣を築いたり、江戸を整地したりするために全国の大名が関わっていることに気付くことができるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/>資料からキーワードやキーセンテンスを見付け、相互のつながりや関係性に気付くことができるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/>本時の問いに対し、資料をもとに考えた自分の意見を記述し、友達と交流する。</p> <p><input type="checkbox"/>「まちづくりにどのようなねらいがあったか」を問うことで、幕府の政治的な意図についての理解を深めることができるようにする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">まじめる</p>	<p>○キーワードを全体で共有し、学習のまとめと考えたことを記述する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>江戸幕府は、天下普請として大名に石垣作りや川の工事、埋め立てなどを負担させた。これによって江戸の町はたくさんの方が安心して住める場所になり、戦いや災害に強い町になった。江戸時代が長く続いていくための基礎ができた。江戸のまちは、このとき全国の大名の力でできたものだと知った。今の東京につながるものが多く分かった。今度、本物の石垣を見に行ってみたいと思った。</p> </div> <p>○振り返りを記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は江戸のまちづくりについて学習した。江戸幕府が政治を行うための基礎づくりをこのときしたのではないかと思う。 	<p>【知技①】 ノートの記述から「幕府は大名に様々な仕事を負担させ、江戸のまちを整え発展の基礎を築いたことを理解しているか」を評価する。</p> <p><input type="checkbox"/>本時の学習が学習問題とどうつながっているかを問う。</p>

<板書>

(学習問題)

江戸幕府はどのようにして平和で長く続いた世の中を築くことができたのだらう。

(学習計画)

江戸幕府は江戸のまちづくりをどのように進めたのだらう

(調べたこと)

(考えたこと)

年表

(まとめ)

(振り返り)

1590年頃

沼地の江戸

1640年頃

江戸図屏風